

# ベトナム ダナン市訪問 報告書

2018/10/04~10/07

# ベトナム ダナン市の概要

国名：ベトナム社会主義共和国

人口：約110万人

面積：1286平方キロメートル

公用語：ベトナム語

平均年齢：約30歳

宗教：仏教

通貨：ベトナムドン（10000ドン=50円程度）

交通：成田⇄ダナン（直行便 約5時間半）

時差：マイナス2時間

気候：3月～8月（乾季）9月～12月（雨季）

気温は、年間平均25度、湿度平均82%

治安：ベトナムの都市の中でも特に治安が良い。

# 訪問スケジュール

日付	時間	行動予定	備考
10月4日	AM	成田空港発 ダナン空港着	
	PM	技能実習生等の送り出し機関を視察	
10月5日	AM	ダナン市役所訪問	
	PM	高校および、日本語学校視察	
10月6日	AM	ダナン大学 外国語学部および、 医療薬学部を視察	
	PM	市内視察後、ダナン空港へ	
10月7日	早朝	ダナン空港発 成田空港到着	

# 訪問目的

## 1、ダナン市役所訪問（トップ会談）

両市の協力・友好関係の構築について、介護人材等の受入れ、観光客の誘致、学生交流、ビジネス交流などに関する覚書の締結に向けた意見交換を行う。

## 2、視察

- 大学（外国語学部・医療薬学部）
- 高校
- 日本語教育センター
- 技能実習生等の送り出し機関

# 技能実習生送り出し機関 視察 10月4日

## Cosevco Trade and Import Export Construction Joint Stock Company

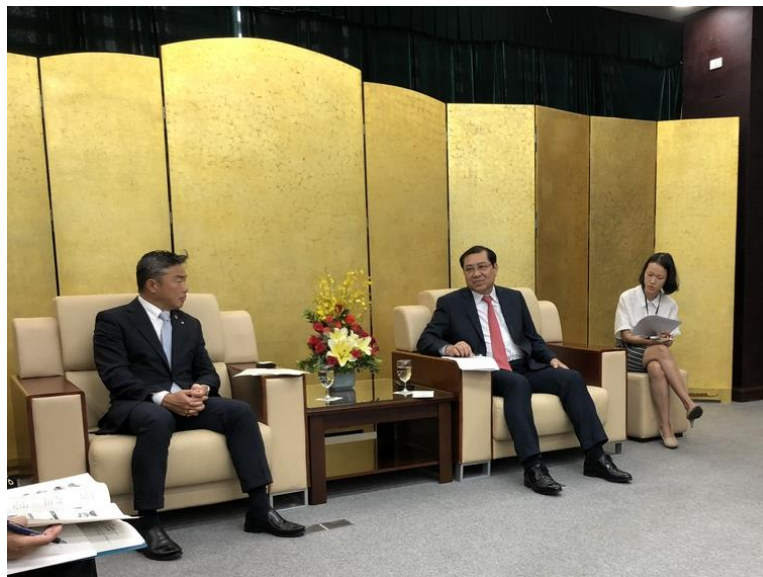
- 2005年から台湾・マレーシア・日本へ1100人を派遣している実績がある。
- 日本は、福岡・大阪・栃木まで送っている。
- 農業(舞茸など)、水産業、電気製品の組立て、最近は、建設の溶接が増えている。
- 実習生80名の内、ダナンは全体の1%くらい。
- 最低賃金をクリアしていればOKだけど、手取りで月給13万以上でないと送らない。就労時間180時間。
- 介護については、認可を待っている状態。



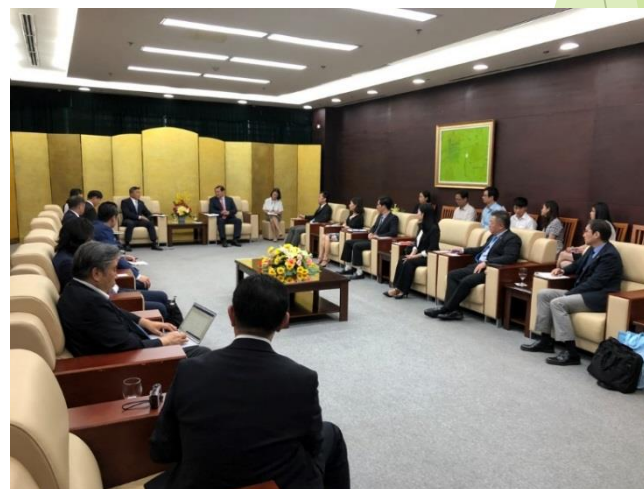
# ダナン市役所 トップ会談 10月5日

## 次第

- 1 ダナン市長挨拶
- 2 木更津市長挨拶
- 3 ダナン市の紹介
- 4 木更津市の紹介
- 5 プレゼント交換



ダナン人民委員会 フィン ドウック トー委員長（市長）と会談



## トップ会談の内容

- 両市の投資環境を紹介して企業誘致しましょう。  
千葉県の工業・企業を紹介してほしい。
- 日本から観光客を増やしたい。  
お祭りに一緒に参加して文化交流しましょう。  
日本料理でも文化交流したい。
- 教育を中心の人材交流、介護についてもMOUを結びたい。  
IT人材も豊富。
- 企業と大学との関係を進めて、インターンシップや市職員の交流もしたい。
- 都市管理に関すること。  
(上下水道など都市基盤の整備と思われる)
- パートナーシップに関する覚書の締結については両市間で今後詰めていく。

# ダナン市役所 視察 10月5日

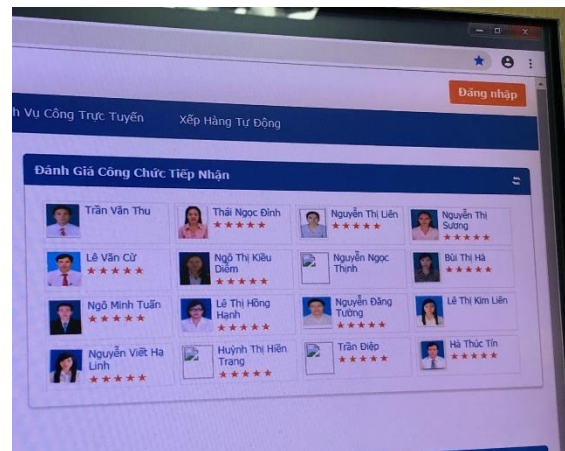


ダナン市役所 3 4 階建て

一元管理の受付



市外務局の方とオフィスにて



市民による職員評価制度がある。



# Le Quy Don 高校 視察 10月5日



ベトナムの優秀な生徒  
が集う学校

全生徒数 900人

日本語学科の生徒  
1年～3年 30名

日本の高校とMOUを締結して交流を望んでいます。



渡辺市長に日本語  
でご挨拶。  
日本のアニメに興味  
があるそうです。



# さくら日本語センター 10月5日



日本語で日本語を教える学校

ダナンには、50の日本語学校  
が存在しているそうです。

生徒数：700人  
小学生から社会人まで幅広い層

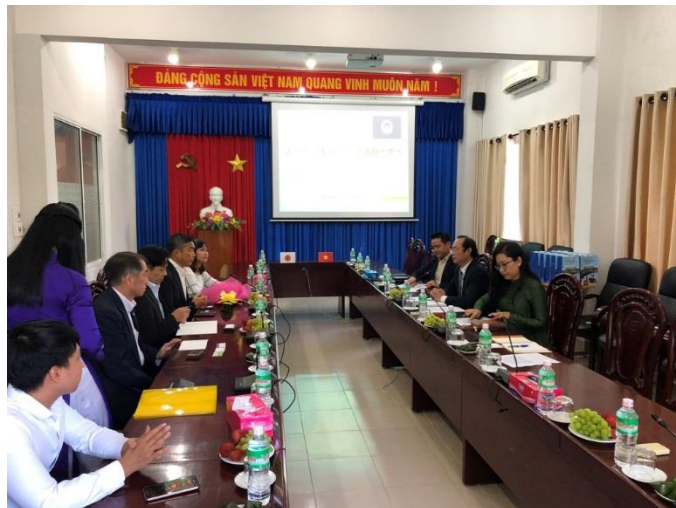
動機：アニメに興味がある生徒が多い。  
親の勧めもある。



# ダナン大学 外国語学部 10月6日



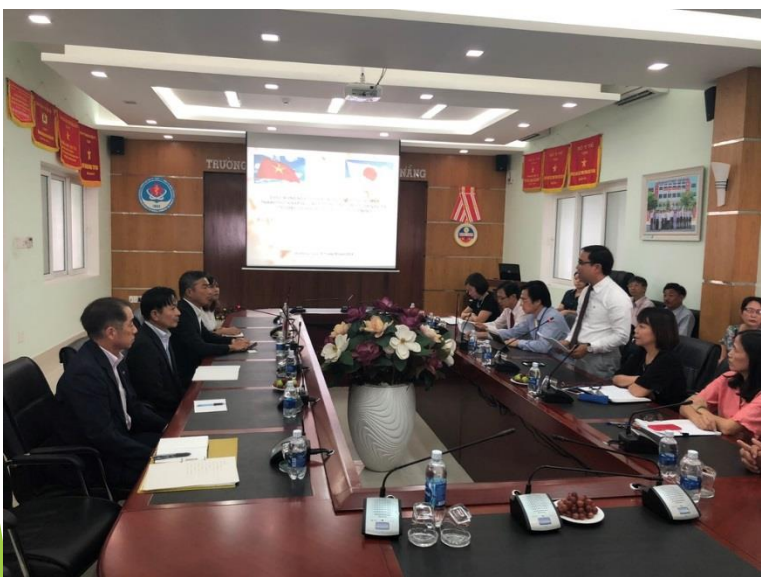
外交官を目指す学生に、渡辺市長からエールを贈ることになりました。



木更津の企業へインターン生（3ヶ月）を送っている。  
日本の学校と交流の機会を持ちたいと話していた。



# ダナン大学 医療薬学部 10月6日



- ベトナムの厚生省直轄 11大学の1つ
- 木更津（千葉県）にある医療大学と医療学術協力したい。
- ダナン市内にトレーニング目的で介護施設を作りたい。
- 岐阜県瑞浪市の社会福祉法人千寿会と大学が提携し、日本語による介護教育を行っている。
- 岐阜県関市の中部学院大に看護・介護の学生を送っている。
- 千葉県と連携して、介護人材の受け入れを進めたい。

# 今後について

